

第 14 回

開催日時	平成25年11月15日（金）19:00～20:00		
開催場所	茨城町役場 2階 大会議室		
出席者	委 員	小林一裕, 吉岡誠, 米川明宏, 石川祐一, 望月昇, 佐藤和彦, 中村敬治, 佐藤加代子, 萩谷元男, 坂本孝一, 郡司邦子, 上田明美, 佐藤方彦, 山口美知子, 美野田龍敬, 海老澤忠 （敬称略, 順不同）	
	傍聴者	0名	
	その他	村田教育次長	
	事務局	学校教育課再編担当	
会議次第	<p>【議事】</p> <p>1 校歌について</p> <p>2 校章について</p> <p>3 校旗について</p> <p>4 式典等日程について</p> <p>5 その他（次回開催等について）</p>		

第14回 茨城町立中学校統合準備委員会 会 議 要 旨

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事

議事（1）校歌について

委員長

それでは、議事に入ります。

議事（1）校歌について、事務局からの説明を求めます。

事務局

茨城大学の橋浦教授と田中教授のもとを訪ね、前回の委員会において、皆様からいただいた意

見・感想等を伝え、校歌の手直しを依頼した。歌詞については、当町の地名や地域をイメージできるキーワードが入っておらず、どこの学校の校歌か分からないという意見があったため、橋浦教授にその旨を伝え、「筑波嶺」、「湊沼川」が入った歌詞に手直ししていただいた。曲については、変声期の男子が歌うには、少し音域が高いのではないかと意見があったため、田中教授にその旨を伝え、音域を少し下げた曲に手直ししていただいた。

今回は、茨城大学の学生の協力を得て、歌声が入った校歌のサンプル音源を送っていただいたので、それを試聴していただいた後に、意見・感想等を伺っていきたくと考えている。

《校歌試聴》

事務局

今回は、歌声も入っていたので、大体のイメージは掴んでいただけたかと思う。皆様の意見・感想等を伺いたい。

委員長

議事（１）校歌について、事務局からの説明が終わりました。

この校歌は１番・２番・３番の後、さらに２フレーズあるが、このようなパターンの校歌もあるのか。

事務局

駒場小学校の校歌が、このパターンである。

委員長

歌詞については、「筑波嶺」と「湊沼川」が入ったことによって、当町の学校の校歌であるという印象が強くなった。

委員

最後の「出会いと別れを 抱きしめて 青葉の学び舎 誉れあれ」のところであるが、「出会いと別れ」と「青葉の学び舎」のメロディーが同じ音の繰り返しで、少し盛り上がりがないのではないかと感じた。

事務局

この会議の前に、町三役にも校歌を試聴していただいたが、ただいまの意見のように、最後がもう少し盛り上がるよう、ドラマチックな感じにならないかという意見があった。

委員長

事務局に確認するが、この歌詞と曲で最終決定とするのか。

事務局

委員の皆様や町三役からいただいた意見・感想等を整理して、橋浦教授と田中教授に最終的な手直しを依頼したいと考えている。ただ、歌詞や曲の構成上、変更がきく範囲には限度があると思うので、いただいた意見が可能な範囲で反映されるよう相談したいと考えている。

委員長

他に意見等があれば伺いたい。

委員

歌詞についてであるが、「この道を歩いて行こう」、「高空を見上げてみよう」、「そよ風に耳を澄まそう」とか、何となく平凡な感じがするので、もう少しインパクトがある歌詞にならないか。

委員長

ただいまの意見について、事務局はどのように考えるか。

事務局

これまで、橋浦教授に話を伺ってきた経過をふまえると、歌詞には全体としての繋がりがあり、先程の例でいえば、「ひたち野の光あふれる」の後に続くフレーズとして「この道を歩いて行こう」がある。また、「筑波嶺に朝雲通う」の後に続くフレーズとして「高空を見上げてみよう」がある。

歌詞全体の繋がりを考えると、一部のフレーズだけ変更するのは難しいのではないかと感じる部分もあるが、実際のところは橋浦教授に相談してみないと分からない。

委員

例えば、「この道を歩いて行こう」は、「この道を真っ直ぐに」とか「この道をただひたすら」など、同じ意味合いの言葉で言い換えれば、もう少しインパクトが強くなると思う。

委員長

それでは、これまでの意見を整理し、橋浦教授と田中教授に再度手直しを依頼し、先生方としては専門的な意見が当然あると思うが、素人の意見としてこれまでのことを申し入れてほしい。

事務局

校歌の制作にかけられる時間は、残り僅かとなってきたため、皆様の意見を整理して、早々に対応したいと思う。

皆様に提案させていただくが、これから最終的な手直しを依頼し、手直しされた校歌を皆様に再度試聴していただき、それが承認されて最終決定という手続きをふむと時間がかかり過ぎてしまう。そのため、皆様の意見を無にせぬよう橋浦教授と田中教授に手直しを依頼したいと考えているので、今度の手直しによってできた校歌をもって、最終決定とさせていただけないか。

委員長

校歌を早く完成させ、生徒達が練習する時間を確保してあげないと開校時に歌えなくなってしまう。事務局の提案どおり、これまでの意見が可能な限り反映されるよう先生方に依頼し、その結果、できあがった校歌をもって、統合準備委員会の最終決定としてよろしいか。

—異議なし—

委員長

手直しにも限度があると思うので、先生方に無理強いしない範囲で、最終的な手直しを依頼してほしい。

議事（2）校章について

委員長

議事（2）校章について、事務局からの説明を求めます。

事務局

校章は、このデザインに最終決定した。デザインの考案者は、明光中学校の生徒である。デザインの意味は、「青葉と桜の花びらと梅の花びらを組み合わせている」である。その原案を道川氏に補正していただき、最終的なデザインが完成した。デザインの考案者の表彰は、平成26年4月の青葉中学校の開校式で行う予定である。

委員長

議事（2）校章について、事務局からの説明が終わりました。

皆様から意見等があれば伺いたい。

委員

この校章のデザインと校旗のサンプル資料にデザインされている校章の「中」の文字を比較すると、字体が違っているように見える。

事務局

資料の色合いの加減で、異なるデザインのように見えてしまっているが、同じ「中」のデザインである。

委員長

校章については、このデザインで最終決定してよろしいか。

－異議なし－

議事（3）校旗について

委員長

議事（3）校旗について、事務局からの説明を求めます。

事務局

校旗については、事務局と学校で協議を行い、最終決定するということで了承されているが、同時に、校旗の生地色の見本に校章を重ね、校旗のサンプル資料を作成し、それを基にして生地色を検討してみてはどうかという意見があったため、学校名と校章の刺繍を想定しながら校旗のサンプル資料を作成した。

この会議の前に、桜丘中学校と梅香中学校の教職員にも同じ資料を提示した結果、桜丘中学校で最も人気があった色は京紫、2番目がハイライトブルー、3番目が江戸紫であった。梅香中学校ではグリーンとライトグリーンが支持された。

現在の校旗の色は、桜丘中学校が紫紺、梅香中学校がキャビンレッド、明光中学校がえんじ色にそれぞれ近い色である。

色については、個人の好みの部分があるが、この場で意見があれば、それを参考にさせていただいたうえで、事務局と学校で協議を行い、最終決定したいと考えている。

委員長

議事（3）校旗について、事務局からの説明が終わりました。

両校において、色の好みがかかれており、最終的な調整をするのは難しいでしょうね。

事務局

校旗は、学校で使用するものであるため、両校の教職員の協議によって、意見をまとめていただくのが一番だと考えている。

委員長

それが賢明だと思う。

議事（４）式典等日程について

委員長

議事（４）式典等日程について、事務局からの説明を求めます。

事務局

今後の校舎建築及び式典関係のスケジュールについて説明する。

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 12月18日（水） | 午前 新校舎の鍵受領式 |
| | 午後 新校舎へ家具類搬入 |
| 12月20日（金） | 午前 新校舎への引越し準備 |
| | 午後 桜丘中学校及び梅香中学校の全校生徒によるシンポジウム |
| 12月21日（土） | 午前 桜丘中学校仮設校舎から新校舎へ引越し |
| | 午後 桜丘中学校終業式 |
| 冬 休 み 中 | 桜丘中学校仮設校舎から新校舎へ雑品等の引越し |
| 1月18日（土） | 新校舎竣工式（町主催） |
| 3月12日（水） | 中学校卒業式 |
| 3月16日（日） | 梅香中学校閉校式（学校主催） |
| 3月23日（日） | 桜丘中学校閉校式（学校主催） |
| 3月24日（月） | 小中学校修了式 |
| 春 休 み 中 | 梅香中学校から新校舎へ引越し |
| 4月9日（水） | 青葉中学校入学式 |
| 4月20日（日） | 午前 青葉中学校開校式（町主催），PTA総会 |
| | 午後 授業参観 |

委員長

議事（４）式典等日程について、事務局からの説明が終わりました。

12月20日（金）に、両校の生徒が参加するシンポジウムが予定されているが、どのような内容を予定しているのか。

部会長

現在、関係教職員が検討しているところであるが、両校の生徒が、同じスタートラインから青葉中学校の開校に向かうことができるような内容を考えている。例えば、両校の生徒が集まり、全員がそろってはじめて何か1つのものが完成するような企画や、両校の3年生が、1・2年生に対して後のことは頼むよというメッセージを送り、それに対して1・2年生が3年生にメッセージを返

し、メッセージ交換をする中で、全員が何かを共有できるような企画を検討している。

また、パネルディスカッションも予定しており、どのようなテーマで行うのかについて検討しているが、例えば、生徒、PTA、教職員、地域の方などで、青葉中学校をどんな学校にしたいかということについて議論し、皆でそれを聴いたりするのも良いのではないかなど、色々な案を検討しているところである。

両校が、同じスタートラインに立ち、思いを一つにしてスタートを切ることを目的として、シンポジウムを実施したいと考えている。

委員長

シンポジウムの内容について検討を重ね、実施に向けて全力投球していただきたい。

それから、事務局に確認するが、青葉中学校の開校式には地域の方を招待する予定なのか。

事務局

はい。保護者はもちろんのこと、川根地区、上野合地区、沼前地区、駒場地区の区長など、多くの方を招待して、開校式を行う予定である。新校舎の竣工式も同様な形で実施する予定である。

委員長

節目の時に、地域の皆で喜びを分かち合うことは大事なことだと思う。

他に意見等があれば伺いたい。

委員

梅香中学校の現3年生の卒業式を、新校舎でやらせてあげることにはできないのか。その頃には、新校舎が完成しているのだから、卒業式ぐらいは新校舎でやらせてあげたらと思う。

部会長

両校とも卒業式を同日に実施するため、それは難しいと思う。また、梅香中学校としての卒業式は、これが最後であることを考えると、梅香中学校の関係者としては、梅香中学校で卒業式をやってほしいという思いが強いのではないかなと思う。いずれにしても、私がこの場で判断できる問題ではない。

委員

卒業式は、閉校式よりも前に実施すること、さらに、梅香中学校としての卒業式は、これが最後であることを考えると、その卒業式を梅香中学校で実施しないというのはおかしい話だと思う。

委員長

卒業式は、閉校式よりも前に実施するのだから、その方が確かに筋は通りますね。最終的には、教育委員会が色々な意見を参酌し、結論を出してください。

議事（５）その他（次回開催等について）

事務局

かねてより計画していた新校舎の見学会を、皆様の了解が得られれば、今月中に実施したいと考えている。

委員長

前々から、新校舎の見学会は予定していたことである。今月中に実施したいということであるが、皆様から意見等はないか。

それでは、事務局において、今月の最後の週のいずれかの日で調整してください。

事務局

それでは、11月27日（水）～11月29日（金）あたりで日程調整をした後、皆様に案内文を郵送させていただく。

スクールバスについては、12月の定例議会に運行条例案を上程する予定であり、議会の承認が得られれば、その後、バス停や利用人数の問題等、運行に係る詳細を詰めていける状況になる。また、教育目標や校訓等については、専門部会で最終調整がなされている段階である。

次回の統合準備委員会は、これらの全ての作業が完了し、これまでに協議・決定してきた内容の全てを最終報告書に取りまとめ、皆様の了承をいただく報告会形式の会議を予定しており、2月下旬～3月上旬に開催を予定している。そこで、これまでの協議・決定事項等を全て整理して、この統合準備委員会の締めと考えている。